

平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大池高原 まるごと体感(体験)活用事業
事業主体 (連絡先)	大鹿村観光協会 下伊那郡大鹿村大河原354番地(大鹿村商工会内)
事業区分	
事業タイプ	
総事業費	1,028,242 円(うち支援金: 960,000 円)

事業内容

① 遊歩道整備

遊歩道の整備と「植物を守ろう」を目的とした杭木植え込み作業の実施。

下草刈り作業にて、森林及び遊歩道の整備、静かに咲く山の花の保護を目的、看板設置。



自己評価(事業実施率)【 A 】

事業効果

杭木を植込み、散歩路を確保をしたことで、訪れた人が、植物の保護への関心を持つことができる。

今後守っていかなければならない植物を見ることにより、高原植物の美しさ、やさしさ、植物による癒しを感じ取れる。

大池高原を散策することで、自然から与えてもらえる癒しを満喫できる。素材は木材とし、やさしさも感じとれるようになった。

【目標・ねらい】

- 植物保護
- 大池散策で森林浴健康法
- 冬の観光材料とする

自己評価(目標達成率)【 A 】

今後の取り組み

定期的に見回り、修繕を行うことにより、希少な植物(花)の盗掘を防ぐ。

標高の高い場所ならではの植物の大切さを、観光客に伝えていく。

風や音、済んだ空気 吸い込まれそうな緑 を身体と心で楽しんで戴けるよう、遊歩道の整備を続けて行く。

事業内容

② 講習会開催 : (目標) 大鹿村の植物や環境保全について講習を受け、住んでいる地域の特徴を再認識し、訪れた観光客への案内に、今までとは違った内容や、特徴を出すことができるようにする。住民参加による高原の保全活動や動植物を知る事で、全村民が観光へ関心を持ち、環境保全認識を高める。

第1回目 平成19年4月25日(水) 研修会議室 参加者 47人
テーマ: 山の植物 (植物の特徴)
講師: 前島正介
内容: 3月から5月にかけて咲く花の特徴や、山菜が持つあくの役目を知ること、植物が必要な環境や、守っていかなければいけないマナーを習得し、訪れた方々に伝える方法の説明を受けた。

第2回目 平成19年10月16日(火) 大池高原 参加者 40人
テーマ: 保護植物 (大池高原に咲く花)
講師: 中村元夫 ・ 前島正介
内容: 大池高原(杭木植込み区域)の植物を観察し、生息場所特徴と知ると同時に、盗掘の心理を考え、何故に保護が必要かを伝える手段を見出していく材料にしました。

テーマ: 動物の生息 (野生動物の変化)

講師: 梶 光伸 氏

内容: 大鹿村全体の野生動物の現在の状況の説明を受ける。鹿・猪・猿の行動の特徴、変化の様子を聞き鳥獣による被害の状況の説明を受ける。

第3回目 平成20年1月27日(日) 大池高原
テーマ: 冬山の野生動物
講師: 梶 光伸 氏
内容: 野生動物の行動を、足跡や木の枝の折れ方等からの判断方法や、冬眠している動物への影響行動内容等、実際の現場にて講義を聞く。

第4回目 平成20年1月31日(木) 山塩館 参加者 51人
テーマ: 南アルプスをジオパークに
講師: 河本
内容: 中央構造線について勉強をし、大鹿村を囲っている山々の特徴を研修した。地質学的からみた大鹿村の貴重な存在や、南アルプスに生息する植物保護の必要さを学び動物との共生方法の確認をした。

第5回目 平成20年2月2日(日) 黒川牧場

テーマ: 冬山の野生動物

講師: 梶 光伸 氏

内容: 大池高原と近いが、動物の縄張りがある為、行動範囲の判断方法や、行動時間の様子等講義を受ける。

スノーシュー事業に関する講習会

実施日 : 1月25日・1月27日・2月2日

目的 : 雪の楽しみ方法であるスノーシューの技術を習得し、健康的に体感できる冬の観光に結びつける。
雑音がない空間で、風の音、動物の声を聞き自然を満喫できる案内をする為の心得等を習得する。

内容 : 別添資料

自己評価(事業実施率)【 A 】

事業効果

基本的な知識を得ることで、「大鹿村」を違った面から再認識し、観光客へ案内を通して大鹿村の自然の楽しみ方を伝え、「今度は夏に訪れたい」「冬の大鹿をもう一度楽しみたい」の気持ちを湧かせ、2度3度と足を運ばせる材料になるつつあり、リピーターの増加につながっている。

村民全体が「案内するよ」の気持ちを持つようになり、農作物を育てながら観光案内ができ、「大鹿村全部が見どころ・楽しみところ・癒しの空間」としてPRできるようになった。

自己評価(目標達成率)【 A 】

今後の取り組み

スノーシュー体験案内を「冬のおすすめ観光」として確立していく。

講習会にて習得したスノーシューでの楽しみ方・案内説明方法・自然の感じ方等を実践に向け、観光客が冬の大鹿村を満喫でき、ジビエ料理を楽しみ、滞在時間を長く持つような工夫をしていく。

山野草等の知識を習得し、山での楽しみ方に必要なルールの伝達に努める。

事業内容

③ 大池花ガイドマップ制作事業

大池高原を始め、大鹿村全体の高原に咲く花をガイドマップ形式の案内パンフにて、「一緒に守っていきましょう！山の植物」を伝え、花から癒しを感じられるような景観をまもることで、健康的な観光に活用する。

平成19年10月16日 意見交換会開催 大池高原 参加者 40人

- ・場所の掲示はしない方がよい。
- ・すべてを案内するのではなく、探すような案内がよい。

平成19年12月 5日 案内パンフレット委員会議

- ・写真提供協力者の確認

平成20年1月22日 案内パンフレット委員会議

- ・写真選定確認作業
- ・植物の名前・特徴・場所の確認

平成20年2月26日 案内パンフレット委員会議

- ・国立公園内の植物写真案内の検討
- ・ラフ確認作業

平成20年3月19日

- ・最終確認作業
(廃業連絡があった為、宿泊案内変更)

自己評価(目標達成率)【 A 】

事業効果

花の専門ガイドが、散策を楽しむアイテムになった。

大鹿村(大池高原)は勿論であるが、山の奥深くに咲く花は、そこに行かなければ逢う事ができないからこそ、又、そんな場所に咲くからこそ可愛く、美しいものと山の花の観察を通して、感じ取れるような存在となっている。

今後の取組み

大池高原の案内コースの中に「大池花の散策」等取り入れ、四季折々の景色や、植物花を楽しんでもらえるような企画にて、観光スポットにする。

春の芽吹きから秋の冬支度を観察してもらい、自然を体感してもらえよう、高原の整備をはじめ植物の保護を行っていく。